

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
経営学Ⅱ business administration Ⅱ		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義		選択	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
起業家教育Ⅰ・Ⅱ、ビジネス実務総論Ⅰ・Ⅱ、経済学、起業演習、起業論、マーケティングⅠ・Ⅱ、経営組織論、技術戦略経営、知的戦略マネジメント論				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
起業家教育Ⅱ、ビジネス実務総論Ⅱ、マーケティングⅡ				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
國分三郎	本館 2F	水曜日 13:00～14:00	授業中に指示します	
授業の概要				
初めて経営学を学ぶ人を対象に経営学の基礎概念や基礎理論を学ぶ。本講座では、現代企業における経営理念の重要性や経営戦略の策定、さらに、カントリーリスクを考えた経営資源の調達と管理、人口減少期の中の組織問題などを取り上げ現代企業の有るべき姿を考える。				
授業の到達目標				
①不確実な経済における経営理念の意義を理解することができるようにする。 ②現代社会における経営者の役割を理解することができるようにする。 ③企業の継続的発展における経営資源の重要性を理解することができるようにする。 ④経営組織とマネジメントの内容を理解することができるようにする。				
授業の方法				
講義。DVDによる映像を積極的に取り入れる				
学習の成果				
①企業利益を正しく理解して説明することができる。 ②現代企業の社会性にもとづく経営者の社会的責任を理解して説明することができる。 ③国際社会における企業の戦略的行動を理解して説明することができる。 ④現代企業の組織的特徴を理解して説明することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	はじめに(シラバスの説明、講義の狙いと進め方、成績評価の説明、受講の態度の説明)			
第2回目	現代企業における経営理念の必要性(国際社会における企業の行動、企業の社会性と利潤性)			
第3回目	経営理念と利益概念(古いイメージの利益概念、宗教観と利益概念)			
第4回目	新しい企業観の出現と経営理念の変化(企業の発展と新しい経営者の出現、新しい利益概念、経営者にみる新しい経営理念)			
第5回目	新しい経営理念とステークホルダー (ステークホルダーとは、企業の社会性とステークホルダー、ステークホルダーと企業行動)			
第6回目	企業をとりまく環境と経営戦略(企業の目的指向性と経営戦略、経営戦略の策定)			

第7回目	企業の利用する経営資源(経営資源とは、ヒト、モノ、カネ)	
第8回目	新たな経営資源の登場(情報、企業文化、時間、技術)	
第9回目	経営資源の調達と蓄積・活用(経営資源の歴史的変遷、経営資源の戦略)	
第10回目	マネジメントと経営組織(組織とは、マネジメントとは、マネジメントサイクル)、小テスト	
第11回目	企業における組織づくりの考え方(企業内における作業の文化、組織のための原則)	
第12回目	企業組織の基本的形態(ライン組織、スタッフ組織、ラインアンドスタッフ組織)	
第13回目	新しい時代の経営組織	
第14回目	国際化社会における我が国の長寿企業	
第15回目	まとめとテスト(一連の講座を振り返り、授業の補足すべき内容の説明や受講者からの質問に答える)	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	最高水準(S)としては無遅刻無欠席で、授業に集中し講義への質問を積極的に行うこと。
レポート		
調査報告書		
小テスト	10%	最高水準(S)としては、基本的専門用語を90%正解すること。
中間・学期末試験	60%	最高水準(S)としては、課題の趣旨を理解して、必要な専門用語を駆使しながら論理的・一貫性をもって論述すること。
発表内容(態度含む)		
その他		
教科書と参考図書		
教科書 片岡信之編『はじめて学ぶ人のための経営学 ver. 2』 文真堂		
履修上の心得・ルール		
受講態度(特に私語禁止)および出席状況を重視する。無断欠席・遅刻は減点の対象とする。遅刻3回で無断欠席1回とする。		